

World Picks! Terminal 2 Thursday Edition

「A sense of the World」大連編(第1回)

放送日時:2月7日(木曜日) 12:25頃～

Guest : 古川 公俊 様

私、藤田じゅんと Rosemarie がお送りしています、LOVE FM 「Departure Lounge」。
ここからのお時間は、World Picks! Terminal 2 Thursday Edition 「A sense of the World」。
このコーナーでは、“人”を通して“世界”を知る！をテーマに毎月1つの国や地域にフォーカス！
今月フォーカスするのは、大連 HOTLINE でもおなじみ、中華人民共和国遼寧省にある都市、『大連』。
本日は福岡・大連未来委員会の事務局長、古川 公俊さんにスタジオにお越しいただきました！

【Q1】自己紹介

- *「大家你好」「我是古川公俊」「是福岡大連未来委員会的秘書長」
- * 福岡・大連未来委員会の事務局長を仰せつかっております、正興電機製作所の古川です。
よろしく申し上げます。

【Q2】さて、古川さんは「福岡・大連未来委員会」の事務局長をされていらっしゃるとのことですが、どんな組織なのでしょう？

- * 福岡・大連未来委員会は、アジアの玄関口である福岡と、中国東北3省の玄関口である大連市との経済、技術交流をはじめ、文化、スポーツを通じての友好交流、青少年の相互交流を推進することを目的として、1993年に設立され、昨年、設立25周年を迎えました。
- * 設立のきっかけは、大連市が急激に発展する中、消防車の台数が不足していることを聞いた福岡の有志の方々が、福岡県当局から2台の消防車の払い下げを受け、再整備して大連市に寄贈した際に、双方が、これで終わりにせず、明日への出発にしようということで意気投合し、その後、関係者のご尽力によって、福岡と大連の双方に委員会が設立され、未来につながる何かができればという願いを込めて、その名も「未来委員会」として発足したと伺っています。
- * 大連側の未来委員会は、大連市政府、大連市対外友好協会が直接運営に携わっており、歴代、副市長が委員長を務めておられます。
福岡側の未来委員会は、福岡県の地場企業を中心とした民間組織で活動しています。
正興電機が設立以来事務局を務めており、現在の委員長は、弊社会長の土屋直知です。

【Q3】具体的にはどんな活動をされていますでしょうか？

- * 設立当初、大規模な「大連市投資環境説明会および商談会」を福岡で3回開催し、7社の合併が成立するなど、大きな成果をあげました。
弊社の子会社「大連正興電気制御有限公司」も、このとき合併第1号として設立されたものです。
- * 近年は、青少年交流に力を入れており、「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」という、アジア太平洋地域の子供達を福岡に集めて、キャンプやホームステイを通じて交流を行う事業に、当委員会が大連の子供達をこれまで14年間で75名招待し、参加しています。
- * また、3年前から、福岡の子供達を大連市に派遣し、大連市対外友好協会との連携で、ホームステイや学校訪問を通じて、大連市の子供達との交流を図る派遣事業も行っておりまして、昨年までに、32名の福岡の子供達を大連に派遣しました。
このような子供達の交流は、必ずや、今後の福岡と大連の交流にとって、大きな力になるものと思います。
- * この他に、留学生関係では、毎年、春節の頃に開催する当委員会の「新年懇親会」に、福岡で学んでいる大連や遼寧省からの留学生を招待して、会員との交流会を行っています。
また、留学生と地元企業が、相互理解を目的として、フリートークで意見交換を行う、「留学生と企業の交流サロン」を毎年開催しています。
企業人と話ができるこれらの企画は、日頃、企業と接触する機会が少ない留学生から、大変喜ばれています。
- * また、昨年は、設立25周年記念ということで、福岡と大連で記念行事を開催しました。
福岡では、3月に、中国領事館のご好意により、領事館の大広間を会場として提供いただき、来賓、留学生を含め100名を越える大勢の方に出席いただいて、25周年記念祝賀会を盛大に開催しました。
9月には、約40名の経済視察団を編成して、大連市の経済視察を行うとともに、大連市政府を訪問し、市長はじめ関係者の皆様と会見を行いました。
併せて開催した25周年記念祝賀会では、副市長はじめ大勢の大連市関係者にご出席いただき、また、大連市に拠点を設けている福岡の企業関係者にも集まっていただいて、約100名の皆様と一緒に25周年をお祝いするとともに、交流を深めました。

【Q4】とても活発に交流があるんですね。そもそも、大連と日本のつながりとはどこからはじまっているのでしょうか？

- * 大連は、日本が統治していた満州時代など、歴史的に日本との関係が深く、対日感情も良好です。
また、日本人が建設した、建物、道路、鉄道などがまだ多く残っており、日本人にとってもなじみの深い都市と言えると思います。
- * 戦前から日本との交流が深く、旧満州という言葉に郷愁を覚える方が、ことに北部九州には多いと聞きます。
当委員会でも、これまでに2回、「中国・東北部郷愁の旅」を企画し、大連、瀋陽、長春、ハルビンを訪問しましたが、参加を希望する方が大勢おられました。
- * 教育機関における日本語学習熱も高く、日本の地方都市との交流も活発に行われています。
- * また、大連には、多くの日系企業が進出しています。

当初は、加工貿易主体の製造業が中心でしたが、最近では、国内販売型も増加の傾向にあります。

また、銀行、保険会社、商社などが、東北地方の拠点として支店や事務所を設置する他、運輸、サービス業など各種の業種が進出しており、IT・ソフトウェア関連企業の進出も多数あります。

【Q5】古川さんも大連に行かれたことがあるんですね。実際にご覧になって、どんな街でしたか？

* 非常に綺麗で、日本人にとって馴染みやすい街ということです。

そして、圧倒的に、在留邦人・日系企業の存在感がある都市です。

* 大連市の 2000 年代以降の発展には目を見張るものがあり、近代的な高層ビルが建ち並んでいますが、街はきちんと整備されており、大変綺麗です。その近代的な高層ビル街の中に、日本が統治していた時代に、日本人が建設した建物がまだ多く残っており、大連市政府の機関や金融機関として活用されています。日本人としては、ノスタルジーを感じる都市ではないでしょうか。

* また、日本人にあった風土、日本人にとって馴染みやすい街だと思います。

海に近いので、海鮮料理が食べられますし、東北料理は、家庭的なものが多く、日本人の口に合うと思います。ショッピングやレジャー施設も整ってきており、観光地も多いので、日本人旅行者も楽しめると思います。

* 日本製の食品や生活用品もショッピングセンターに多数並んでいますし、日本料理店や日本風居酒屋も多く、単身赴任で、大連に駐在しているビジネスマンも衣食住などの日常生活には困らないのではないのでしょうか。それに、福岡から 2 時間で行けるという地理的条件も有り難いと思います。

【Q6】最後に LOVEFM のリスナーへメッセージいただけますでしょうか。

* 大連は、日本に対する伝統的な友好感情に加え、最近の日中関係改善の機運の高まりに伴い、官民の様々な交流も一段と活発になってきています。未来委員会としても、幅広い交流を活発に推進し、福岡と大連の両地域間の緊密な協力関係の構築、双方の更なる発展に貢献したいと考えています。

* 皆様も、日本人にとってなじみの深い大連や中国・東北部の都市を訪ね、満州時代に造られた多くの建物、美しい街並みを実際に見ることにより、日本人が残した旧満州の歴史を肌で感じてみられることをお勧めします。実際に大連に行って、大連の街の空気を吸って、大連の人と接してみれば、そのよさを肌で感じる事ができると思います。テレビや新聞の報道などを見て、旅行に行くのに「中国はどうか？」と考えている方は、是非、一度、大連に行ってくださいと思います。

World Picks! Terminal 2 Thursday Edition 「A sense of the World」。

この福岡・大連未来委員会の事務局長、古川 公俊さんをおスタジオにお迎えしました。ありがとうございました！